

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限 [当初、2027年6月9日まで] (2017年7月31日設定)	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。	
主要運用対象	ベ ビー ファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザー ファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビー ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マ ザー ファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

第13期（決算日：2023年12月11日）

信託期間を従来の2027年6月9日から無期限へ延長しました。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）」は、去る12月11日に第13期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

期間の初めから2023年7月末にかけての株式市況は、堅調な米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まる一方、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が予想を下回りインフレ鈍化傾向が確認され、上昇しました。8月から10月末にかけては、政策金利が高い水準で維持される期間が長くなるとの観測の下、米長期債利回りが上昇したことに加え、中東情勢を巡る地政学リスクへの警戒感が重しとなったことなどから、株価は下落する展開に転じました。その後は、CPIなどの経済指標がインフレ鈍化がうかがえる結果となったことを受け、利上げ終了観測が強まり、米長期債利回りが低下したことなどから、市況は再び上昇基調となり期間末を迎えています。当期間はAIや半導体関連など大手ハイテク株が株式市場の上昇を主導する相場展開でした。消費関連やディフェンシブ性の高い銘柄群が総じて軟調だったことが、ビューティー・ビジネス関連銘柄にマイナスに影響しました。また、中国における個人消費回復の遅れや代理購入業者に対する規制強化の影響も株価の重しとなりました。

運用のポイント

ジョンソン・エンド・ジョンソンからコンシューマーヘルス事業のスピノフ（分離・独立）により設立された「KENVUE INC」を新規に組み入れました。同社は科学に基づいた商品開発に強みを持ち、主なブランドであるニュートロジーナやドクターシーラボに代表される

スキンケア事業の成長に期待しています。また、世界的な高いブランド力や成長性を重視し、引き続き「COTY INC-CL A」、[L'OREAL]などの欧米有力化粧品メーカーの上位組み入れを維持しました。

運用環境の見直しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向け商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。足下のようにAIや半導体が注目される局面では、世界株式市場に対して当ファンドのパフォーマンスが劣化する局面はあるかもしれませんが、それはビューティー市場の魅力に変化があったことを示しているわけではありません。ビューティー市場自体は今年に入ってから堅調に伸びていますし、今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと組み入れていきたいと考えています。



株式運用部
ファンドマネージャー

秋元 政隆 西 直人 柳原 武士 飯田 太郎 小島 直人 安井 陽一郎

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
	円		円		%		%	百万円	
9期(2021年12月9日)	10,000		600		6.0	96.9	—	5,124	
10期(2022年6月9日)	8,448		0	△15.5		97.9	—	4,712	
11期(2022年12月9日)	8,659		0	2.5		99.0	—	4,715	
12期(2023年6月9日)	8,644		0	△0.2		97.4	—	4,439	
13期(2023年12月11日)	8,001		0	△7.4		97.4	—	3,860	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落率				
(期首) 2023年6月9日	円 8,644		% —		% 97.4		% —
6月末	8,771		1.5		97.1		—
7月末	8,870		2.6		96.8		—
8月末	8,651		0.1		97.0		—
9月末	7,961		△7.9		97.5		—
10月末	7,450		△13.8		96.0		—
11月末	7,810		△9.6		96.2		—
(期末) 2023年12月11日	8,001		△7.4		97.4		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

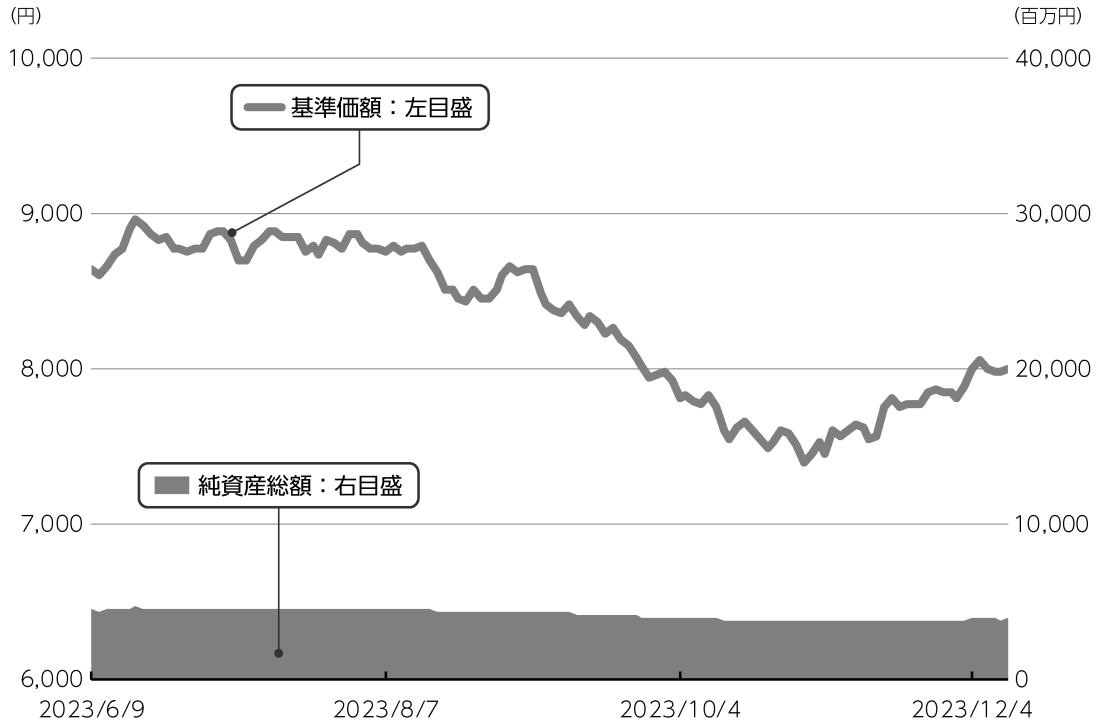
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第13期：2023年6月10日～2023年12月11日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第13期首	8,644円
第13期末	8,001円
既払分配金	0円
騰落率	-7.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.4%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

組入銘柄（資生堂、ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、INMODE LTD）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

第13期：2023年6月10日～2023年12月11日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年7月末にかけての株式市況は、堅調な米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まる一方、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が予想を下回りインフレ鈍化傾向が確認され、上昇しました。8月から10月末にかけては、政策金利が高い水準で維持される期間が長くなるとの観測の下、米長期債利

回りが上昇したことに加え、中東情勢を巡る地政学リスクへの警戒感が重しとなったことなどから、株価は下落する展開に転じました。その後は、CPIなどの経済指標がインフレ鈍化がうかがえる結果となったことを受け、利上げ終了観測が強まり、米長期債利回りが低下したことなどから、市況は再び上昇基調となり期間末を迎えています。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。通貨別では、香港ドルやユーロなどの比率を引き上げた一方、韓国ウォンなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、期間の初めの36銘柄から期間末は35銘柄となりました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業

主な銘柄入替は以下の通りです。

ジョンソン・エンド・ジョンソンからコンシューマーヘルス事業のスピンオフ（分離・独立）により設立された「KENVUE INC」を新規に組み入れました。同社は

科学に基づいた商品開発に強みを持ち、主なブランドであるニュートロジーナやドクターシーラボに代表されるスキンケア事業の成長に期待しています。

中長期的な成長ドライバーである中国市場において、主力ブランドの競争力低下が懸念されるため、化粧品メーカーの「LG H&H」を全売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期 2023年6月10日～2023年12月11日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	350

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向け商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバー

がビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

ここ最近、高級ブランドを手掛ける企業が化粧品事業を強化する動きが目立っています。グッチやポッテガヴェネタを運営するフランスのケリングは、2023年2月に新たにビューティー部門を立ち上げ、6月には高級フレグランスを手掛けるクリードを買収するなど、ビューティー事業を強化しています。イタリアの高級ファッションブランドのプラダは、ビューティー市場への本格参入を表明し、8月から自社のオンラインショップでスキンケアとメイクアップの販売を開始しました。このように、これまであまり積極的に化粧品事業を手掛けてこなかった高級ブランドも注目し始めるなど、ビューティー市場の魅力は以前にも増して高まっています。

株式市況については、インフレ懸念や景気動向への不透明感、地政学リスクなどに引き続き注意が必要です。しかし、ビューティー関連銘柄は、そうした市況の変動や景気後退、インフレに対する耐性が相対的に高い特徴があると考えています。足元では、欧米を中心に長引くインフレを受け、消費者は選別的になっており弱含みが見られつつあります。しかし、インフレの環境にうまく適応できる企業

群もあり、当ファンドで投資しているビューティー関連銘柄、特に化粧品メーカーはその1つだと考えています。化粧品メーカーが提供する効果効能や機能性、革新性、ブランドイメージなどに対する消費者のロイヤリティは高い傾向にあり、そうしたものに価値を感じて人々はお金を支払うため、結果として化粧品メーカーの売上総利益率は高くなりやすいです。

こうした企業群は、販売量に大きな影響を与えることなく、比較的容易に価格を上げることができる能力を持っており、特にインフレ環境下ではその能力の差が表面化しやすいと考えています。インフレ環境下において底堅さを示すビューティー・ビジネス関連銘柄の秘密は、こうしたところに隠されていると考えています。

2023年6月10日～2023年12月11日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	75	0.911	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(37)	(0.444)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.445)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.036	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(3)	(0.036)	
(c) 有価証券取引税	1	0.007	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.007)	
(d) その他費用	1	0.014	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	80	0.968	

期中の平均基準価額は、8,279円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

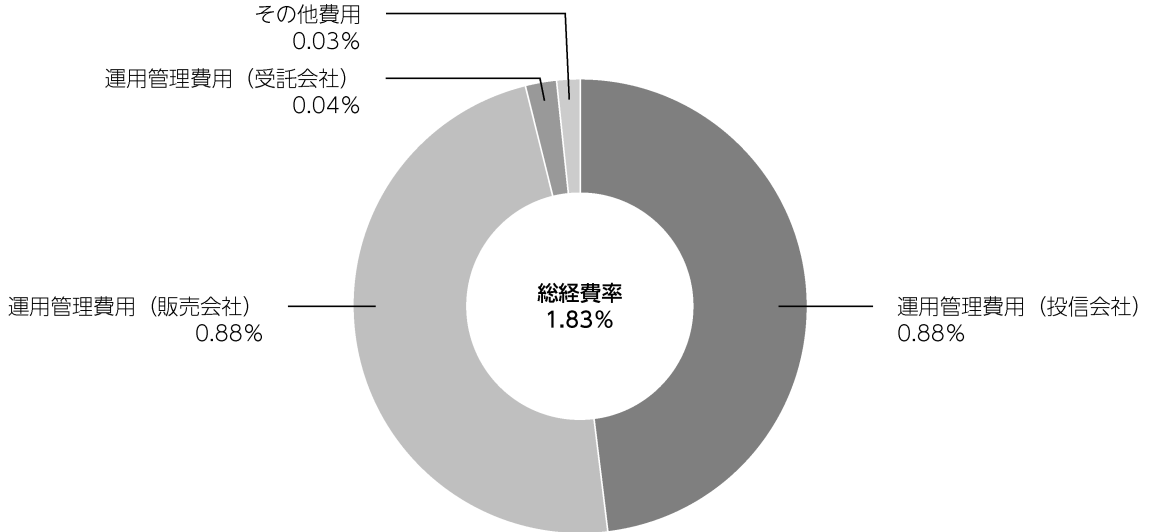
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年6月10日～2023年12月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 140,027	千円 270,310	千口 433,386	千円 836,590

○株式売買比率

（2023年6月10日～2023年12月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	8,692,831千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,793,990千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2023年6月10日～2023年12月11日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 1,320	6.3		百万円 961		4.8

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 227	4.4		百万円 -	-	-
為替直物取引	百万円 240	12.9		百万円 728		51.6

平均保有割合 14.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,522千円
うち利害関係人への支払額 (B)	26千円
(B) / (A)	1.7%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年12月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	2,339,260	2,045,901	3,819,083

○投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	3,819,083	97.3
コール・ローン等、その他	104,896	2.7
投資信託財産総額	3,923,979	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（23,643,541千円）の投資信託財産総額（27,514,402千円）に対する比率は85.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=145.40円	1 ユーロ=156.58円	1 イギリスポンド=182.49円	1 スイスフラン=165.36円
1 香港ドル=18.62円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年12月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,139,190,416
コール・ローン等	40,179,418
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	3,819,083,529
未収入金	3,279,927,469
(B) 負債	3,278,946,380
未払金	3,223,849,946
未払解約金	16,861,514
未払信託報酬	38,162,833
未払利息	11
その他未払費用	72,076
(C) 純資産総額(A-B)	3,860,244,036
元本	4,824,770,075
次期繰越損益金	△ 964,526,039
(D) 受益権総口数	4,824,770,075口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,001円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,136,425,513円
 期中追加設定元本額 210,754,400円
 期中一部解約元本額 522,409,838円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8001円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は964,526,039円です。

③分配金の計算過程

項 目	2023年6月10日～ 2023年12月11日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	117,607,721円
分配準備積立金額	51,687,790円
当ファンドの分配対象収益額	169,295,511円
1万口当たり収益分配対象額	350円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2023年6月10日～2023年12月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 20,137
受取利息	473
支払利息	△ 20,610
(B) 有価証券売買損益	△268,383,620
売買益	160,790,290
売買損	△429,173,910
(C) 信託報酬等	△ 38,352,036
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△306,755,793
(E) 前期繰越損益金	△504,036,527
(F) 追加信託差損益金	△153,733,719
(配当等相当額)	(117,470,313)
(売買損益相当額)	(△271,204,032)
(G) 計(D+E+F)	△964,526,039
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△964,526,039
追加信託差損益金	△153,733,719
(配当等相当額)	(117,607,721)
(売買損益相当額)	(△271,341,440)
分配準備積立金	51,687,790
繰越損益金	△862,480,110

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①新NISA（成長投資枠）の要件対応のため、信託期間を延長（無期限化）し、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
（2023年9月9日）
- ②委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
（2023年10月1日）

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第13期》決算日2023年12月11日

[計算期間：2023年6月10日～2023年12月11日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月11日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2021年12月9日)	17,609		8.3	97.6	—	27,433
10期(2022年6月9日)	16,935	△3.8		97.1	—	28,122
11期(2022年12月9日)	18,023		6.4	99.1	—	27,458
12期(2023年6月9日)	18,868		4.7	98.0	—	25,480
13期(2023年12月11日)	18,667	△1.1		98.4	—	26,499

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		株組入比率	株式先物比率
			円	騰落率		
	(期首)					
	2023年	6月9日	18,868	—	98.0	—
	6月末		19,902	5.5	97.2	—
	7月末		19,880	5.4	96.5	—
	8月末		20,015	6.1	97.4	—
	9月末		18,635	△1.2	97.5	—
	10月末		17,547	△7.0	96.5	—
	11月末		18,452	△2.2	96.9	—
	(期末)					
	2023年	12月11日	18,667	△1.1	98.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

組入銘柄（資生堂、ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、INMODE LTD）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

●投資環境について

◎株式市況

・世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年7月末にかけての株式市況は、堅調な米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まる一方、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が予想を下回りインフレ鈍化傾向が確認され、上昇しました。8月から10月末にかけては、政策金利が高い水準で維持される期間が長くなるとの観測の下、米長期債利回りが上昇したことに加え、中東情勢を巡る地政学リスクへの警戒感が重しとなったことなどから、株価は下落する展開に転じました。その後は、CPIなどの経済指標がインフレ鈍化がうかがえる結果となったことを受け、利上げ終了観測が強まり、米長期債利回りが低下したことなどから、市況は再び上昇基調となり期間末を迎えています。

◎為替市況

- ・円に対して米ドル、ユーロは上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
- ・当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。
- ・通貨別では、香港ドルやユーロなどの比率を引き上げた一方、韓国ウォンなどの比率を引き下げました。
- ・組入銘柄数については、期間の初めの36銘柄から期間末は35銘柄となりました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

ジョンソン・エンド・ジョンソンからコンシューマーヘルス事業のスピノフ（分離・独立）により設立された「KENVUE INC」を新規に組み入れました。同社は科学に基づいた商品開発に強みを持ち、主なブランドであるニュートロジーナやドクターシーラボに代表されるスキンケア事業の成長に期待しています。

中長期的な成長ドライバーである中国市場において、主力ブランドの競争力低下が懸念されるため、化粧品メーカーの「LG H&H」を全売却しました。

○今後の運用方針

- ・ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大

や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向け商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

・ここ最近、高級ブランドを手掛ける企業が化粧品事業を強化する動きが目立っています。グッチやボッテガヴェネタを運営するフランスのケリングは、2023年2月に新たにビューティー部門を立ち上げ、6月には高級フレグランスを手掛けるクリードを買収するなど、ビューティー事業を強化しています。イタリアの高級ファッションブランドのプラダは、ビューティー市場への本格参入を表明し、8月から自社のオンラインショップでスキンケアとメイクアップの販売を開始しました。このように、これまであまり積極的に化粧品事業を手掛けてこなかった高級ブランドも注目し始めるなど、ビューティー市場の魅力は以前にも増して高まっています。

・株式市況については、インフレ懸念や景気動向への不透明感、地政学リスクなどに引き続き注意が必要です。しかし、ビューティー関連銘柄は、そうした市況の変動や景気後退、インフレに対する耐性が相対的に高い特徴があると考えています。足元では、欧米を中心に長引くインフレを受け、消費者は選別的になっており弱含みが見られつつあります。しかし、インフレの環境にうまく適応できる企業群もあり、当ファンドで投資しているビューティー関連銘柄、特に化粧品メーカーはその1つだと考えています。化粧品メーカーが提供する効果効能や機能性、革新性、ブランドイメージなどに対する消費者のロイヤリティは高い傾向にあり、そうしたものに価値を感じて人々はお金を支払うため、結果として化粧品メーカーの売上総利益率は高くなりやすいです。こうした企業群は、販売量に

大きな影響を与えることなく、比較的容易に価格を上げることができる能力を持っており、特にインフレ環境下ではその能力の差が表面化しやすいと考えています。インフレ環境下において底堅さを示すビューティー・ビジネス関連銘柄の秘密は、こうしたところに隠されていると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年6月10日～2023年12月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 7 (7)	% 0.036 (0.036)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.007 (0.007)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	10	0.053	
期中の平均基準価額は、19,082円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月10日～2023年12月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 917	千円 1,187,797	千株 103	千円 347,156
	アメリカ	百株 5,479	千アメリカドル 21,014	百株 2,108	千アメリカドル 19,318
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	72	857	—	—
	フランス	7 (26)	562 (—)	—	—
	イギリス	137	千イギリスポンド 749	—	千イギリスポンド —
スイス	—	千スイスフラン —	41	千スイスフラン 1,205	
香港	8,014	千香港ドル 31,458	—	千香港ドル —	
韓国	—	千韓国ウォン —	47	千韓国ウォン 1,467,538	

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年6月10日～2023年12月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	8,692,831千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,793,990千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月10日～2023年12月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 5,180	百万円 227	% 4.4	百万円 3,512	百万円 —	% —
為替直物取引	1,858	240	12.9	1,410	728	51.6

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	10,327千円
うち利害関係人への支払額 (B)	174千円
(B) / (A)	1.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年12月11日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
化学 (91.7%)				
日油	123.1	120.1		817,040
花王	132.1	132.1		769,746
資生堂	166.5	188.9		724,431
ファンケル	209.5	124.4		278,345
コーセー	2.1	—		—
ポーラ・オルビスホールディングス	10.8	130.2		205,520
I n e	44.2	148.1		352,626
情報・通信業 (8.3%)				
アイスタイル	—	658.4		283,770
合 計	株 数 ・ 金 額	688	1,502	3,431,480
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	7	< 12.9% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,316	960	7,415	1,078,224	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	597	686	9,185	1,335,631	家庭用品・パーソナル用品	
JOHNSON & JOHNSON	174	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	601	629	9,134	1,328,104	家庭用品・パーソナル用品	
ALIGN TECHNOLOGY INC	2	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
LULULEMON ATHLETICA INC	157	47	2,317	336,959	耐久消費財・アパレル	
ULTA BEAUTY INC	243	249	12,025	1,748,445	一般消費財・サービス流通・小売り	
CHURCH & DWIGHT CO INC	315	402	3,736	543,309	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	139	139	2,088	303,679	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COTY INC-CL A	11,029	11,262	13,086	1,902,804	家庭用品・パーソナル用品	
INTER PARFUMS INC	—	187	2,464	358,318	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	471	428	5,454	793,142	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	512	678	4,587	667,039	消費者サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	938	938	2,199	319,867	ヘルスケア機器・サービス	
INMODE LTD	1,712	2,284	4,966	722,167	ヘルスケア機器・サービス	
ELF BEAUTY INC	375	193	2,458	357,462	家庭用品・パーソナル用品	
KENVUE INC	—	2,871	5,918	860,593	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	18,589	21,959	87,040	12,655,749	
	銘柄数<比率>	15	15	—	<47.8%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BEIERSDORF AG	587	659	8,735	1,367,777	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	400	400	4,217	660,322	素材	
小計	株数・金額	987	1,059	12,952	2,028,100	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<7.7%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	141	149	11,054	1,730,947	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	256	256	11,336	1,774,993	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	267	294	1,494	234,014	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	666	700	23,885	3,739,955	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<14.1%>	
ユーロ計	株数・金額	1,653	1,760	36,837	5,768,056	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<21.8%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,464	1,464	5,544	1,011,877	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	226	226	1,223	223,339	家庭用品・パーソナル用品	
CRODA INTERNATIONAL PLC	739	876	4,176	762,197	素材	
小計	株数・金額	2,430	2,567	10,945	1,997,414	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<7.5%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	12	10	3,436	568,192	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	97	57	691	114,272	ヘルスケア機器・サービス	
AVOLTA AG	1,259	1,259	3,937	651,061	一般消費財・サービス流通・小売り	
小計	株数・金額	1,368	1,326	8,064	1,333,527	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<5.0%>	
(香港)			千香港ドル			
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	11,460	18,240	36,042	671,106	家庭用品・パーソナル用品	
CHINA TOURISM GROUP DUTY F-H	390	1,624	12,293	228,908	一般消費財・サービス流通・小売り	
小計	株数・金額	11,850	19,864	48,335	900,014	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.4%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(韓国) LG H&H	百株 47	百株 —	千韓国ウォン —	千円 —	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	47 1	— —	— < - % >	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	35,939 29	47,478 28	— —	22,654,762 < 85.5 % >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 26,086,242	% 94.8
コール・ローン等、その他	1,428,160	5.2
投資信託財産総額	27,514,402	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（23,643,541千円）の投資信託財産総額（27,514,402千円）に対する比率は85.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=145.40円	1 ユーロ=156.58円	1 イギリスポンド=182.49円	1 スイスフラン=165.36円
1 香港ドル=18.62円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	28,242,876,658
コール・ローン等	524,582,401
株式(評価額)	26,086,242,808
未収入金	1,616,191,158
未収配当金	15,860,291
(B) 負債	1,742,894,513
未払金	728,474,383
未払解約金	1,014,420,000
未払利息	130
(C) 純資産総額(A-B)	26,499,982,145
元本	14,196,413,305
次期繰越損益金	12,303,568,840
(D) 受益権総口数	14,196,413,305口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,667円

<注記事項>

- ①期首元本額 13,504,706,938円
 期中追加設定元本額 1,906,273,127円
 期中一部解約元本額 1,214,566,760円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8667円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	12,150,512,234円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	2,045,901,071円
合計	14,196,413,305円

[お知らせ]

- ①新NISA(成長投資枠)の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2023年7月3日)
- ②委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。(2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年6月10日~2023年12月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	156,847,044
受取配当金	150,189,187
受取利息	2,223,658
その他収益金	4,631,790
支払利息	△ 197,591
(B) 有価証券売買損益	△ 492,766,778
売買益	2,628,770,640
売買損	△ 3,121,537,418
(C) 保管費用等	△ 2,791,652
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 338,711,386
(E) 前期繰越損益金	11,975,546,593
(F) 追加信託差損益金	1,731,126,873
(G) 解約差損益金	△ 1,064,393,240
(H) 計(D+E+F+G)	12,303,568,840
次期繰越損益金(H)	12,303,568,840

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。